

R4年度 事業名	電子申請等事業			
R3年度 事業名	オンライン申請の利用推進事業			
総合戦略 体系	451	安心で快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	デジタルガバメントの実現

PLAN (計画)	部署名	デジタル推進課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	さまざまな市民ニーズに対応した行政サービスを展開していくことにより、市民の利便性・満足度の向上を図る。				
	概要	インターネットを活用し、各種行政サービスを提供する。高い安全性、信頼性を確保するための基盤整備を行う。個人認証を求めない手続きなど、比較的オンライン化しやすい手続きの選別や、オンライン化の障壁となる添付書類の廃止など、手続き自体の合理化も含めて改善を図り、利用促進を目指す。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令等 根拠		実施 形態	内容	オンライン申請システムを運用するための使用料を支払		
現在	その他					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	ホームページ等でのPR回数		回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	1	3	5		
	電子申請・施設予約手続き数		件	目標値	50	50	50	80	80
				実績値	26	33	26		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	電子申請・施設予約利用件数		件	目標値	600	600	600	15,000	15,000
				実績値	755	2,918	6,584		
				達成率	125.8	486.3	1,097.3		
	計算 根拠	電子申請件数 167件 施設予約件数 253件 LoGoフォーム件数 6,164件 (ワクチン27,200件除く)		実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	440	444	447	594	1,354		事業タイ	単独事業
	決算額	440	444	447	572			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	205	デジタル行政整備事業費	80,444	1,354	
2								
3								
4								
5以降	・電子申請・施設予約システム利用料 ・県市町ファイル共有システム利用料 ・LoGoフォーム利用料							
合計							1,354	

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点～8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒	統合
取組内容	インターネットを活用した電子申請や施設予約など各種行政サービスを提供し、引き続きオンライン手続きを進める。また、県内自治体が共同利用している現行システムについては、次期システムへの更新時期を迎えるが、利用者や職員の利便性向上に繋がるシステムの導入できるかが大きな課題であり、共同利用を継続するかどうかも含めて判断したい。
来年度の実績	LoGoフォームによる電子申請が増加したことにより、目標値以上の実績を上げることができた。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度はLoGoフォームによる電子申請の件数が伸びた。R4年度もLoGoフォームの活用が全庁的に進んでおり、件数が増加傾向にある。課題としては、電子申請で受けた内容を事務処理する仕組みがアナログであるため、バックオフィスの最適化も併せて行っていく必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	DX推進基本方針のとおり、行政手続きのデジタル化を推進し、オンラインでの申請を進めていく。オンライン申請推進のため、LoGoフォームやびったりサービスの活用を積極的に進めていく。特にLoGoフォームについては、R5年度より機能を追加することにより、オンライン申請種類の増加および事務の効率化を図っていく。バックオフィスについても、担当部署と調整を行い、引き続きデジタル化に向けてサポートをしていく。
R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	オープンデータ活用推進事業
R3年度 事業名	オープンデータ活用推進事業

総合戦略 体系	451	安心で快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	デジタルガバメントの実現
------------	-----	-----------------	--------------	--------------

PLAN (計画)	部署名	デジタル推進課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	行政の透明化や官民共同による公共サービスの提供、経済の活性化を図るため、鯖江市が所有している情報を、機械判読しやすい形式であるLinkedRDF形式等で公開を進める。				
	概要	鯖江市が所有している情報を、機械判読しやすい形式であるLinkedRDF形式等で公開する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	職員においてオープンデータプラットフォームへの情報登録を行う。オープンデータプラットフォームの管理運営は民間委託	
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	オープンデータプラットフォームでの公開データ数		件	目標値	220	220	220	220	220
				実績値	215	216	216		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	オープンデータを活用したアプリの利用者数(2020年度まで)		件	目標値	2200	2200			
				実績値	2906	3170			
	計算 根拠	(2020年度まで)さばれば、つつじこりトル+、さばとマップのダウンロード数		達成率	96.5	107.9			
	オープンデータ公開自動化数(2021年度から)		件	目標値			2	3	5
				実績値			2		
	計算 根拠	(2021年度から)コミュニティバスロケーションAPI、子育てイベント		達成率			100		
				実績値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,128	2,707	2,205	1,278	858		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,056	2,028	2,205	1,188			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	205	デジタル行政整備事業費	80,444	858	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	858

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.13
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ 事務改善	取組内容 鯖江市が所有している情報を、機械判読しやすい形式であるLinkedRDF形式等で公開し、データの利活用に寄与する。R4年度は、アプリでの情報発信を継続する。また、現データの状況把握、新たなデータの公開を検討する。
来年度へ向けて	R3年度の実績 R3年度中の利用者数は目標を達成した。
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 現在のオープンデータの多くは、過去に作ったものが大半であり、最新データに変更できていないものが一部ある状況である。そういったものを更新することが必要であるとともに、利用されていないデータについても今後どうしていくかを考える必要がある。更新作業については、現在は職員が一からデータ作成を行う必要があり、業務量が膨大となる恐れもあるため、今後効率的なデータ作成を行う仕組みを検討する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 現在公開されているオープンデータについて精査し、より質の高いデータとする。また、市が保有しているデータを自動的にオープンデータとして公開出来るような仕組みを検討する。
R5方向性⇒ 事務改善(業務プロセスの改善)	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒